E012-007 **会場：301A** **時間：5 月 29 日　10:45-11:00**

新期御嶽火山による古地磁気永年変化とエクスカーション

Paleosecular Variation from the late Quaternary Ontake Volcano, Japan: Directions and Excursions

田中　秀文[1]，小林　武彦[2]
Hidefumi Tanaka[1], Takehiko Kobayashi[2]

[1] 高知大・教育，[2] 富山大・理・地球科学
[1] Education, Kochi Univ, [2] Dep.Earth Sci.,Toyama Univ

http://www.kochi-u.ac.jp/~hidefumi/

御嶽火山はおよそ 0.75 Ma に活動を開始したが，0.4-0.1 Ma の休止期により古期御嶽火山と新期御嶽火山に分けられる．新期御嶽火山の噴出物は詳細な火山層序が明らかにされ，また多数の K-Ar 年代値が求められており，層序の上下と年代値の間には極めて良い対応が得られている（Matsumoto and Kobayashi, 1995）．本研究では，新期御嶽火山の安山岩溶岩を 42 サイトで採取し，20-90 ka の古地磁気永年変化について報告する．また，48 ka と 80 ka の溶岩から得られたエクスカーションについて議論する．